

あげば尊し…

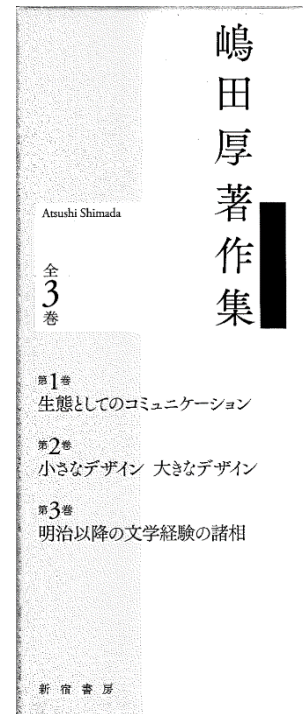
2018（平成30）年3月23日、私は東京の国立（くにたち）駅前の花屋で花束を買っていました。その日は大学の同期会を開くことになっており、当時お世話になった嶋田厚先生をお招きしていたからです。先生は1929（昭和4）年の生まれでしたから、その時89歳！ご自宅が国立だったので、その近くの小さなレストランを借り切って会が行われました。

80人しかいない小さな学部だったのと、年度末だったこともあって、参加したのは20人弱でしたが、日本各地から、そしてロザンゼルスやバンコクから来た人もいました。私が大学を卒業したのが1985（昭和60）年でしたから、33年の月日が経っていましたが、卒業以来会っていなかった同期生とも久しぶりに話をしました。

私の母校は大学では珍しく、1年生にクラスセミナーというホームルームがあり、その担任が嶋田先生だったのです。しゃべり方はのんびりした感じの方でしたが、内容はいつも厳しく、私の結婚式するときには、「こいつは教員になったけど、まあ校長ぐらいにはなるだろうが、まあその程度でしょう。だけど、詐欺師になっていたら、きっとニコニコしながら日本中をだますような大物になったかもしれない。」なんて祝辞をします。その夜私の妻が「私もだまされたのかなあ？」とポツリと言ったときには、正直、先生を恨みました。

2014年に、やはり同期生で東京大学情報学環の教授になった水越伸（みずこしん）が編集に関わって、先生の著作物をまとめた3分冊の全集が発行されました。そこに書かれた年譜を見ると、東京生まれの先生は幼いころ、姉の病氣療養のために小田原の親戚宅にしばらく住み、小田原市立第一尋常小学校（現在の三の丸小学校）に通っていたということです。その後、東京に戻り、第2次世界大戦の終戦は、海軍予科士官学校で迎えました。大学卒業後の一時期には、明星学園という私立の学校で、小学校の先生をしたようです。この明星学園は1924年に大正自由教育の流れを汲んで設立された学校で、「やまびこ学校」で有名な無著成恭（むちゃくせいきょう）も教員として働いていました。

その後大学で、社会学を教えるようになり、私も教え子の一人になりました。先生の講義は「情報文化論」という名前で、いわゆるコミュニケーション論についてのとても幅広い内容のものでした。私は1年生のときに単位はとっていたのですが、その後も毎年講義をきくために出席していました。脳外科の手術では頭蓋骨をどのように切るかとか、日本の民放テレビは教育番組



をやることで認可にんかされたとか、その他おもしろい話をたくさん聞きました。

あるとき生物学者のコンラッド・ローレンツという人の書いた「ソロモンの指輪」(日高敏隆訳、早川書房)という本の話をしてくれました。生まれたばかりのハイイロガンという鳥に、目をみながらローレンツがうなずいたら、鳥はずっと彼を親だにんしきと認識して、寝食しんしょくを共にする羽目になったそうです(寝床まで)。

先生は、ごく一握りの人しか関心をもたないような専門的な文学の論文を書く一方で、人間は所詮動物しよせんの一種で、そのコミュニケーションの仕組みも動物とそう変わらないという感覚を持っていました。

そんな先生とは、結婚式しゅくじで祝辞をお願いした後しばらく年賀状を交換していましたが、それもいつの間にかなくなりました。久しぶりに声を聴いたのは、突然「著者謹呈」ちよしゃきんていと書かれた小包で先生の全集が届き、そこに書かれた連絡先にお礼の電話をしたときでした。

先生は、相変わらずのぶっきらぼうな語り口で昔話をされたのち、同期生の名前を何人かあげてその後の動静どうせいを訊かれました。私は同期会の幹事かんじの一人をしていて連絡先や仕事先はある程度把握はあくしていたので、その連絡先を伝えました。後日、そこにも先生の全集が送られたことを知りました。

その後、連絡先を伝えた一人で京都教育大学の教授をしている同期生から、先生が病気で手術をしたことを聞きました。しばらくしてお見舞いがてら自宅に伺い、先生を囲んで同期会の開催かいさいを呼びかけてよいか相談したところ、先生は「まだ本調子じゃないかなあ」と渋しぶっていたのですが、奥様から「あなた、次の機会こうかいになんて言っていると、あの時やっておけばよかったなんて吉川さんが後悔するといけないから、やってもらいなさいよ」と後押ししてもらいました。似たもの夫婦とはこういうことを言うのかなと、自分の結婚式の時の先生の祝辞を思い出しながら、その時は思いました。

きっとこんなことを言うと先生は「気持ち悪いなあ」と嫌いやがると思いますが、嶋田先生は私にとって恩師おんしと呼べる唯一ゆいつの人です。みなさんもどこかでそんな先生と出会えるといいですね。

早く学校が再開いのできることを祈って、今回はこんな内容になりました。